

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	生活習慣病対策推進費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成10年度		担当課室	がん対策・健康増進課		がん対策・健康増進課長 椎葉 茂樹		
会計区分	一般会計		施策名	I-10-2 生活習慣の改善等により健康寿命の延伸等を図るとともに、がんによる死亡者の減少を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「国民の健康の増進の総合的な推進を図る基本的な方針」(平成15年厚生労働省告示第195号) 「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)の推進について」(平成12年3月31日付厚生省発健医第115号事務次官通知)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	生活習慣病予防の取組を国民一人ひとりに浸透させ、国民の生活習慣改善に向けた行動変容の動機付けを促進する。また、その為の生活習慣の改善に向けた取組を総合的に支援する体制の整備を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	生活習慣病予防対策全般に関し、慢性疾患対策のあり方に関する検討会等の開催により各種施策の検討、科学的根拠に基づいた健康づくりを支援するため食事摂取基準の策定に向けた検討等を行った。また、健康づくりに関する正しい知識の啓発のため糖尿病情報システムの整備・運用等を実施した。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	96	85	116	179	476	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	96	85	116	179	476		
	執行額	87	85	80				
執行率(%)	90.6	100	69					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	スマート・ライフ・プロジェクトの認知率			%	10	12	16	前年度以上
			達成度	%	-	120	133	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	スマート・ライフ・プロジェクトの参加企業数			企業	210	420 ( 380 )	1236 ( 590 )	1406
単位当たりコスト	-		算出根拠	当該事業は、生活習慣の改善に向けた取組を総合的に支援する体制の整備をするために必要な経費であり、単位当たりコストの設定は困難である。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	13	12	「新しい日本のための優先課題推進枠」347				
	職員旅費	1	2					
	委員等旅費	12	11					
	社会保障関係情報化業務庁費	152	419					
	庁費	1	1					
	衛生関係指導者養成等委託費	0	31					
	計	179	476					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	健康日本21を中心とした健康づくり対策を推進していくために必要な事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	健康日本21を中心とした健康づくり対策を推進していくためには、国による基本となる指針等の作成が必要であり、そのため必要となる事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	資料印刷等の少額案件以外のものは一般競争入札を適切に行っている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	健康づくり対策を推進するために真に必要な費目・使途となっている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	検討会等の結果等については、適切に公表されている。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>スマート・ライフ・プロジェクトの参加企業数及び認知度が年々増加している。生活習慣病予防の取組を国民一人ひとりに浸透させ、国民の生活習慣改善に向けた行動変容の動機付けを促進するために必要な経費であり、引き続き実施していく必要がある。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	「スマート・ライフ・プロジェクト」による生活習慣改善の動機付けや、食事摂取基準の策定等を行うための経費であるが、経費の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	319	平成23年	289	平成24年	249

厚生労働省  
116百万円

〔生活習慣病予防対策に関する各種施策の検討、各種調査や基準の検討策定、正しい情報の提供等を実施〕

【一般競争・委託】

A. 民間企業(7) 47百万円

〔システム保守、機器リース等〕

【随意契約・委託】

B. 民間企業等(29) 41百万円

〔システム賃借、資料印刷等〕

うち事務費28百万

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.昭和リース株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃借料	データセンター式	12			
計		12	計		0
B.スタートコム株式会社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃借料	システム機器賃借、運用保守等	4			
計		4	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	昭和リース株式会社	システム機器賃貸借及びデータセンタ業務一式	12	1	100
2	富士ソフト(株)	システム運用業務一式	10	2	53
3	スタートコム株式会社	システム運用保守業務一式	10	2	45
4	富士ソフト(株)	システム機能改善業務一式	8	1	97
5	株式会社 クラウド テクノロジーズ	システム運用保守業務一式	5	2	71
6	オリックス・レンテック株式会社	システム用機器賃貸借一式	1	1	99
7	株式会社 クラウド テクノロジーズ	システム用機器賃貸借一式	1	2	41

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	スタートコム株式会社	システム用機器賃貸借等一式	4	随意契約	
2	(株)太陽美術	資料印刷	3	随意契約	
3	(株)ハップ	調査票の編集、印刷	3	随意契約	
4	協新流通デベロッパ(株)	梱包、発送業務	2	随意契約	
5	大和総合印刷(株)	資料印刷	2	随意契約	
6	NECキャピタルソリューションズ	システム用機器賃貸借・保守一式	2	随意契約	
7	(株)インクス	世界禁煙デー記念シンポジウム企画・運営業務	1	随意契約	
8	富士ソフト(株)	システム機能追加業務一式	1	随意契約	
9	(株)公募ガイド社	世界禁煙デー及び禁煙週間普及啓発用ポスターデザイン業務	0.9	随意契約	
10	扶桑速記印刷(株)	速記	0.7	随意契約	